

令和3年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会資料一覧

| | | | |
|-------|---|-------------|-------|
| 資料1 | 令和3年度 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 事業総括 | | P. 1 |
| 資料2-1 | ・令和3年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書(案) | | P. 9 |
| 資料2-2 | ・令和3年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳(案) | | P. 10 |
| 資料2-3 | 監査報告書(写) | | P. 13 |
| 資料3-1 | 四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について(申請) (人間環境大学総合心理学部) | | P. 15 |
| 資料3-2 | 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 別表第1(第4条関係)の変更について | | P. 16 |
| 資料4 | 共同事業契約書の変更合意について(案) | | P. 17 |
| 資料5 | 令和4年度SPOD事業計画(案) | | P. 18 |
| 資料6-1 | 令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算(案) | | P. 20 |
| 資料6-2 | 令和4年度共同事業契約における役割分担等について(案) | | P. 24 |
| 資料7-1 | 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について(案) | | P. 28 |
| 資料7-2 | 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(令和4年4月1日現在)(案) | | P. 29 |
| 資料8 | SPODの将来構想について(案) | | P. 30 |
| 参考資料1 | 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領 | ※議題2参考資料 | P. 32 |
| 参考資料2 | 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 | ※議題3, 6参考資料 | P. 33 |
| 参考資料3 | 共同事業契約書 | ※議題4, 6参考資料 | P. 37 |
| 参考資料4 | 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(令和3年4月1日現在) | ※議題7参考資料 | P. 43 |



令和3年度 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 事業総括

1. SPOD事業の概要

四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD／SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に、**平成20年10月に設立**

- 平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- 平成30年に設立10周年を迎え、**現在13年目**。
- 四国地区の高等教育機関**35校**が加盟
(令和3年4月にせとうち観光専門職短期大学が新規加盟)
- FD・SDにおける地域間大学連携のモデル事業



2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿

(令和3年4月1日現在)

| | | |
|-----|------|-------------|
| 会 長 | 仁科弘重 | 愛媛大学長 |
| 副会長 | 野地澄晴 | 徳島大学長 |
| 副会長 | 笥善行 | 香川大学長 |
| 副会長 | 櫻井克年 | 高知大学長 |
| 監 事 | 磯部雅彦 | 高知工科大学長 |
| 監 事 | 平山けい | 阿南工業高等専門学校長 |

企画・実施統括者 中井俊樹

愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

3

SPOD加盟校

【愛媛】13校

(大学⑦)

愛媛大学(国), 愛媛県立医療技術大学(公)
聖カタリナ大学(私), 松山大学(私), 松山東雲女子大学(私)
岡山理科大学獣医学部(私), 人間環境大学松山看護学部(私)

(短期大学④)

今治明德短期大学(私), 松山東雲短期大学(私)
松山短期大学(私), 聖カタリナ大学短期大学部(私)

(高等専門学校②)

新居浜工業高等専門学校(国), 弓削商船高等専門学校(国)

【香川】7校

(大学③)

香川大学(国), 香川県立保健医療大学(公)
高松大学(私)
※徳島文理大学香川キャンパス

(短期大学③)

香川短期大学(私), 高松短期大学(私)
せとうち観光専門職短期大学(私)

(高等専門学校①)

香川高等専門学校(国)

35校(四国地区の高等教育機関)が加盟

大学19^{*}, 短期大学11, 高等専門学校5 (令和3年4月現在)

※四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。この場合、学部等单位での加盟となる。

【高知】7校

(大学⑤)

高知大学(国), 高知県立大学(公)
高知工科大学(公), 高知学園大学(私)
高知リハビリテーション専門職大学(私)

(短期大学①)

高知学園短期大学(私)

(高等専門学校①)

高知工業高等専門学校(国)

【徳島】8校

(大学④)

徳島大学(国), 鳴門教育大学(国)
四国大学(私), 徳島文理大学(私)

(短期大学③)

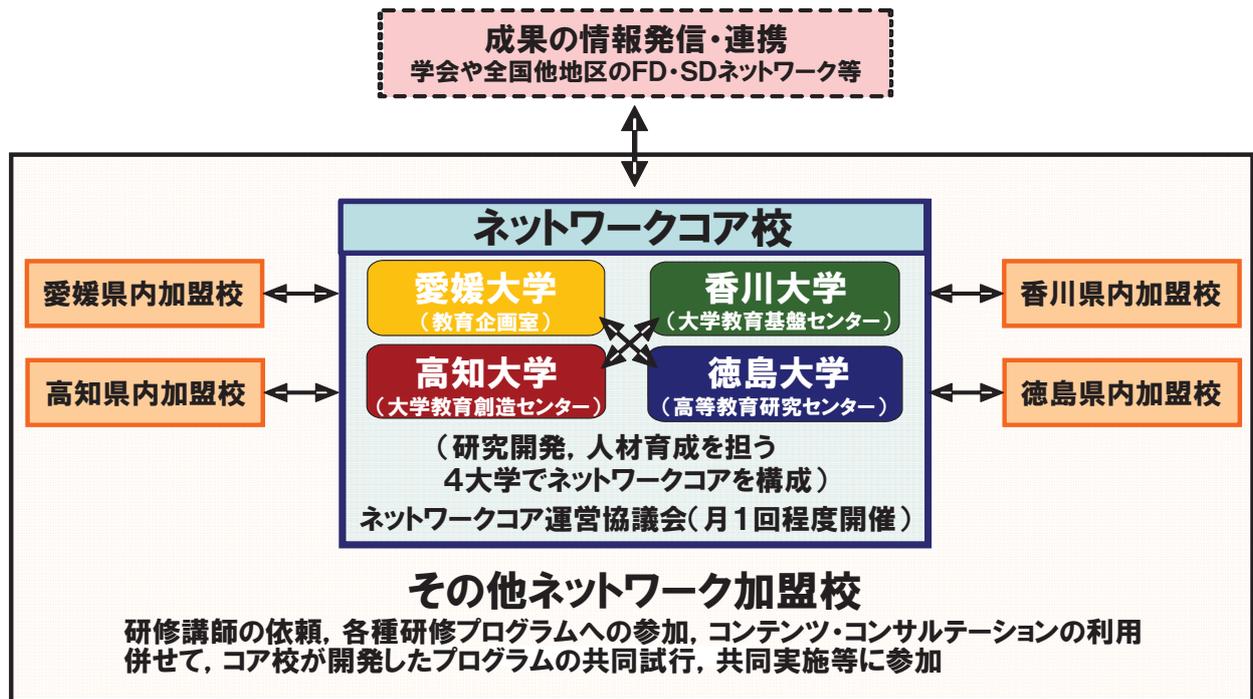
四国大学短期大学部(私), 徳島工業短期大学(私)
徳島文理大学短期大学部(私)

(高等専門学校①)

阿南工業高等専門学校(国)

4

ネットワーク運営体制

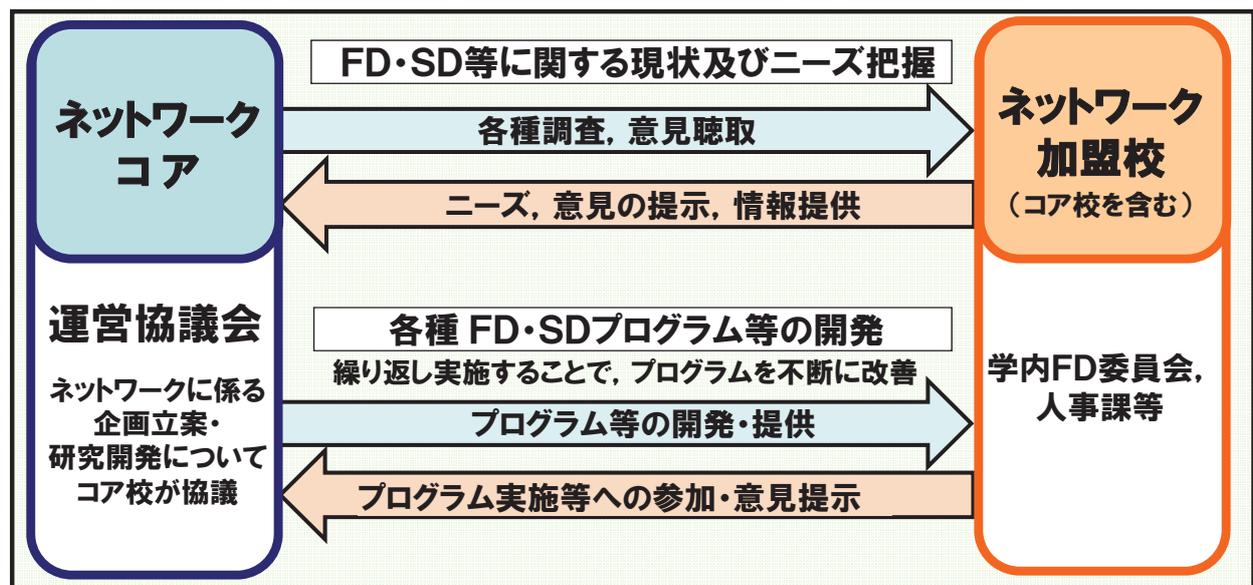


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

5

【連携内容】

① ネットワークコア, 加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣, 先進事例実地調査, 遠隔会議システム等を活用した情報交換等

6

3. 令和3年度事業の総括

1. SPOD共通事業

- ① SPODフォーラムの実施
- ② SPOD内講師派遣プログラムの実施
- ③ 情報提供・広報活動

2. FD事業

- ④ FD担当者研修の実施
- ⑤ 新任教員研修の開発・実施
- ⑥ 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

3. SD事業

- ⑦ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- ⑧ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施
- ⑨ SPOD-SDC (SDの実践的指導者) の認定

4. SPOD運営

- ⑩ ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

7

① SPODフォーラムの実施

共通事業

- ・スキルアップにつながる実践的プログラムを3日間で集中的に提供
- ・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD／SDプログラム及び組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供

「SPODフォーラム2021」

【日 時】 2021年8月25日(水)～27日(金)

【方 法】 全面オンライン

【テーマ】 「New Normalの大学教育を考える」

【申込者】 **572名(延べ1,753名)**

【プログラム数】 32プログラム

【事後全体アンケート】 ※フォーラム終了3週間後にWEB実施

- ・回答者の約99%が「満足」と回答
- ・知識やスキルの習得、業務等への積極的な取り組み等の項目で約90%が肯定的回答



■ SPODフォーラム2022

【日 時】 2022年8月24日(水)～26日(金)

【方 法】 全面オンライン

【テーマ】 「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」

8

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

共通事業

- ・ SPODに加盟するメリットとして、40以上のプログラムの中から各加盟校が希望するプログラムについて、研修講師を1法人あたり年1回無料で派遣

■ 令和3年度SPOD内講師派遣プログラムの実績

【派遣機関:26機関, 受講者数:1009名】

- ・ 各加盟校におけるFD・SD活動等の方針に沿った活用ができるよう、実施プログラム決定にあたって事前調査を実施。
- ・ 近隣の加盟校で実施するプログラムに開催校以外から参加するケースも増加
- ・ 複数回開講(2回目以降の経費は加盟校負担)を希望する加盟校も増加
→ 学内研修の企画・立案に活用

- ・ 加盟校からの評価が高く、特に小規模校の参加率が高い。
- ・ 教育改善や組織への波及効果が示唆される。
→ 各校の実情に即したプログラムを提供できるよう見直しを行いながら、今後も継続的に実施

9

③ 情報提供・広報活動

共通事業

(1) SPODホームページ

- ・ イベント情報のページにて、SPODが主催するFD/SDプログラムの最新情報を発信。
- ・ SPOD加盟校内の実施プログラム及び活動報告、会議の議事概要等を掲載し、加盟校内の情報共有を図る。



(2) 令和3年度活動報告書

- ・ 加盟校内で実施したプログラムの実施内容・効果、各加盟校のFD/SD活動等を掲載した冊子を作成し各加盟校に配付。
- ・ 事業評価委員会の資料としても活用し、同内容をホームページに掲載。



(3) SPODメールマガジン

- ・ SPODに関する各種情報を発信。登録者約300名(全加盟校SPOD事務担当者を含む。)に対して配信。

10

④ FD担当者研修の開発・実施

FD事業

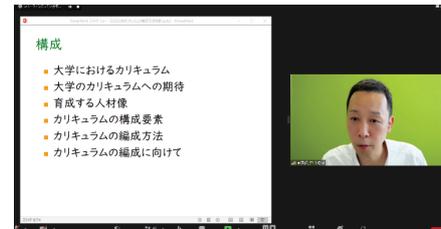
「カリキュラムの編成方法」

目的：FDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能を習得できるよう、各加盟校におけるFD担当者の養成を支援

日時：令和3年8月25日(水)

方法：オンライン(SPODフォーラム2021のプログラムとして実施)

- ・参加機関数：30機関(うち加盟校外21機関)
- ・参加者数：48名(うち加盟校外30名)
- ※次年度もSPODフォーラムのプログラムとして実施予定



●受講者からの声

- ・今までは『これで良い、これしかない』と思っていたいろいろなことについて選択肢と可能性が広がった
- ・カリキュラム改革に向けて、編成の方法や手順が明らかになり、とても励みになった

11

⑤ 新任教員研修の開発・実施

FD事業

新任教員研修

目的：授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につける。

特徴：どのコア校が主催する研修を受講しても同様の効果を得られるよう、**コア校間でプログラムを標準化**

実績：各コア校主催で計4回開催、加盟校11校(延べ)から84名が参加
→ 事後アンケートでは、参加者の97.4%から「満足」の回答を得る。

⑥ 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

FD事業

「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」

目的：ティーチング・ポートフォリオ(TP)を作成することにより、教育力向上を目指す。

実績：オンラインにて開催し、加盟校3校から21名が参加

●受講者からの声

- ・専門や学問へのアプローチは違っても、教育への思いやそれを具体化するための方法は共通したものがあることを学んだ。
- ・自身の教育・研究に対する考えや思い、改善点等を再認識する良い機会となった。

12

⑦ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施 SD事業

「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(新任職員・レベルⅠ～Ⅲ)」

目的：高等教育機関の職員として一般的に求められている広範な素養を習得

実績：コロナ禍のため、オンライン(Zoom)開催(計4回)

加盟校52校(延べ)から176名が参加 → 満足度96.7%

※SPOD-SDC資格取得者や次世代リーダー養成ゼミナール修了生が講師を務める。

■ 新任職員研修(5月開催)

- ・例年、四国4県の持ち回りで実施
- ・今年度は高知大学主催で93名が受講

●受講者からの声

・コロナの影響で、同期と話す機会が少ないため、この研修を通して同大学さらには他大学の職員間で交流ができ、つながりができたことが良かった。

■ レベルⅠ(11月開催)

- ・昨年度はコロナ禍により開催見合わせ
- ・主な対象：大学職員として3年以上の経験のある係員相当級の職員

●受講者からの声

・一見、自分が知っていると思っていた内容についても意味を読み解き、実践的に活用しようと努力する事が大事だとわかった。

13

⑧ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施 SD事業

「次世代リーダー養成ゼミナール」

目的：将来、トップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成

受講者：10期生5名、11期生4名(計9名)

特徴：① 2年間で8回実施(1回2～3日間)

② 「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成

③ 受講生による発表や討論を行う時間を十分に設定

※受講者は、毎回課される課題をこなす必要がある。

→ 各自が企画・実施したプロジェクトに関する最終プレゼン及びプロジェクト実践レポートの提出並びに口頭試問を経て修了となる。

※高等教育の第一人者を講師に招く → 加盟校内教職員にも開放

第10期生5名が修了 ※修了生(1～10期生) 合計 68名

【修了生の実績】

- ・ゼミナールでの経験を活かし、SPODや学内外の研修講師を務める。
- ・SPOD-SDC(SDの実践的指導者)の資格を取得。

14

「SPOD-スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター(SPOD-SDC)」

趣旨：SDに関する知識・技術を修得し、自大学及びSPOD加盟校におけるSDの実践的指導者として適切な能力を有すると認められる者を認定

【令和3年度新規認定者：6名（認定者合計：38名）】

高知大学 3名、 高知工科大学 1名
 聖カタリナ大学 1名、 徳島大学 1名

- ・各加盟校が「SDの義務化」に対応し、自校のSD事業を推進できるよう、SPOD-SDC資格取得者の輩出を積極的に支援
- ・今後も幅広い加盟校からのSPOD-SDC輩出を目指す。

【SPOD-SDC資格認定基準】

1. SPOD-SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

15

ネットワークコア運営協議会

コア校のFD・SD担当者等が事業の実施、運営上の諸課題等について教職協働で協議。必要に応じてFD/SD専門部会も開催。

県内加盟校会議

ネットワークコア運営協議会の報告や各県内加盟校のニーズ聴取を目的として開催

【令和3年度開催実績】

- ネットワークコア運営協議会：7回開催（遠隔）
- FD専門部会：7回開催（遠隔）
- SD専門部会：5回開催（遠隔及び書面）
- 県内加盟校会議：徳島県で1回開催（遠隔）

16

令和3年11月30日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長
(国立大学法人愛媛大学長) 仁科弘重 殿

学校法人河原学園 理事長 河原 成紀



四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について (申請)

令和4年4月1日付けで開設予定の学校法人河原学園人間環境大学総合心理学部は、四国地区大学教職員能力開発ネットワークの目的及び事業に賛同し、四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟を希望しますので、よろしくお取り計らい願います。



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 別表第1(第4条関係)の変更について(案)

令和4年4月1日現在

| 別表第1 加盟校 | |
|----------|------------------------------|
| 1 | 徳島大学 |
| 2 | 鳴門教育大学 |
| 3 | 香川大学 |
| 4 | 愛媛大学 |
| 5 | 高知大学 |
| 6 | 香川県立保健医療大学 |
| 7 | 愛媛県立医療技術大学 |
| 8 | 高知県立大学 |
| 9 | 高知工科大学 |
| 10 | 四国大学 |
| 11 | 徳島文理大学 |
| 12 | 高松大学 |
| 13 | 聖カタリナ大学 |
| 14 | 松山大学 |
| 15 | 松山東雲女子大学 |
| 16 | 高知学園大学 |
| 17 | 高知リハビリテーション専門職大学 |
| 18 | 四国大学短期大学部 |
| 19 | 徳島工業短期大学 |
| 20 | 徳島文理大学短期大学部 |
| 21 | 香川短期大学 |
| 22 | 高松短期大学 |
| 23 | 今治明德短期大学 |
| 24 | 聖カタリナ大学短期大学部 |
| 25 | 松山東雲短期大学 |
| 26 | 松山短期大学 |
| 27 | 高知学園短期大学 |
| 28 | せとうち観光専門職短期大学 |
| 29 | 岡山理科大学獣医学部 |
| 30 | 人間環境大学松山看護学部 及び総合心理学部 |
| 31 | 阿南工業高等専門学校 |
| 32 | 香川高等専門学校 |
| 33 | 新居浜工業高等専門学校 |
| 34 | 弓削商船高等専門学校 |
| 35 | 高知工業高等専門学校 |

別表第2 コア校

| |
|------|
| 徳島大学 |
| 香川大学 |
| 愛媛大学 |
| 高知大学 |

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(抄)
(加盟校)

第4条 SPODは、別表第1に定める加盟校をもって構成する。

2 四国地区の大学等で、SPODの目的及び事業に賛同するものは、第9条に定める総会の承認を経て、新たにSPOD加盟校となることができる。ただし、四国地区に一部の学部等を置く大学については、当該学部等単位で加盟するものとする。

3 SPODを退会する場合には、総会の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する3ヶ月前までに会長に申し出るものとする。

附 則

1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。

2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

附 則

この規約は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成30年3月29日から施行する。

共同事業契約書の変更合意について（案）

令和4年 月 日
ネットワーク総会決定

令和3年4月1日付けで締結した共同事業契約書は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第4条第2項に基づき、令和4年4月1日付けで学校法人河原学園（人間環境大学総合心理学部）が四国地区大学教職員能力開発ネットワークに新規加盟するため、令和4年4月1日付けで下記のとおり変更するものとする。

記

| 変更前 | 変更後 |
|---|---|
| <p>国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学）、国立大学法人香川大学（香川大学）、国立大学法人高知大学（高知大学）、国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学）、香川県（香川県立保健医療大学）、公立大学法人愛媛県立医療技術大学（愛媛県立医療技術大学）、高知県公立大学法人（高知県立大学及び高知工科大学）、学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部）、学校法人村崎学園（徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部）、学校法人四国高松学園（高松大学及び高松短期大学）、学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部）、学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学）、学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学）、学校法人徳島城南学園（徳島工業短期大学）、学校法人尽誠学園（香川短期大学）、学校法人今治明德学園（今治明德短期大学）、学校法人高知学園（高知学園大学、高知学園短期大学及び高知リハビリテーション専門職大学）、学校法人穴吹学園（せとうち観光専門職短期大学）、学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）、学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部）、独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は、次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。</p> | <p>国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学）、国立大学法人香川大学（香川大学）、国立大学法人高知大学（高知大学）、国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学）、香川県（香川県立保健医療大学）、公立大学法人愛媛県立医療技術大学（愛媛県立医療技術大学）、高知県公立大学法人（高知県立大学及び高知工科大学）、学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部）、学校法人村崎学園（徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部）、学校法人四国高松学園（高松大学及び高松短期大学）、学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部）、学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学）、学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学）、学校法人徳島城南学園（徳島工業短期大学）、学校法人尽誠学園（香川短期大学）、学校法人今治明德学園（今治明德短期大学）、学校法人高知学園（高知学園大学、高知学園短期大学及び高知リハビリテーション専門職大学）、学校法人穴吹学園（せとうち観光専門職短期大学）、学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）、学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部及び総合心理学部）、独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は、次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。</p> |
| <p>乙 愛媛県松山市花園町3-6 学校法人河原学園 人間環境大学松山看護学部 理事長 河原成紀</p> | <p>乙 愛媛県松山市花園町3-6 学校法人河原学園 人間環境大学松山看護学部及び総合心理学部 理事長 河原成紀</p> |

令和4年度SPOD事業計画（案）

1. SPOD共通事業

- ・SPODフォーラム
令和4年8月24日（水）～8月26日（金）（3日間）
開催場所：オンライン（愛媛大学）
「全体テーマ：変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」
トップリーダーセミナーを併せて開催
- ・SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計26回） 開催場所：各加盟校
原則として、1法人あたり1回とする。
ただし、高等専門学校については、1校あたり1回とする。
- ・FD・SDに関する調査研究
- ・情報提供サービス
 - ①研修プログラムガイド2022の発行（年1回、ホームページ掲載）
 - ②令和4年度SPOD活動報告書の発行（年1回、ホームページ掲載）
 - ③SPODホームページの管理・更新
 - ④SPODメールマガジンの発行
- ・その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

2. FD事業

- ・FD担当者研修 開催場所：オンライン（愛媛大学）
SPODフォーラム2022において開催
- ・新任教員研修の実施・公開 開催場所：各コア校
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの公開・実施
開催場所：愛媛大学、徳島大学
- ・各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2022に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：オンライン（徳島大学），愛媛大学
新任職員 1回 オンライン（徳島大学）
レベルⅠ 1回 対面予定（愛媛大学）
レベルⅡ 1回 対面予定（愛媛大学）
レベルⅢ 1回 対面予定（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：徳島大学，愛媛大学
- ・職務別能力開発研修
SPODフォーラム2022等において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，香川県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2022に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（年7回程度）
- ③事業評価委員会（対面開催）（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について（案）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第5条、第7条、第8条及び第12条に基づき、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの役員等は以下1～5のとおりとする。

なお、コア校は、規約別表第2のとおり、徳島大学、香川大学、愛媛大学及び高知大学を指す。

1. 代表校／事務局（規約第7条及び第12条関係）
愛媛大学
2. 会長（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）
愛媛大学長
3. 副会長（規約第8条第1項、第3項、第5項及び第7項関係）
徳島大学長、香川大学長及び高知大学長
4. 監事（規約第8条第1項、第4項、第5項及び第8項関係）
高知工科大学長及び阿南工業高等専門学校長
5. 企画・実施統括者（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）
愛媛大学教育・学生支援機構

【参考】四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（抄）

（コア校）

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

（代表校）

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。（事務局）

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

別表第2 コア校

| |
|------|
| 徳島大学 |
| 香川大学 |
| 愛媛大学 |
| 高知大学 |

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（案）

任 期 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(令和4年4月1日現在)

| | | |
|----------|------|------------------|
| 会 長 | 仁科弘重 | 愛媛大学長 |
| 副 会 長 | 河村保彦 | 徳島大学長 |
| 副 会 長 | 笥善行 | 香川大学長 |
| 副 会 長 | 櫻井克年 | 高知大学長 |
| 監 事 | 磯部雅彦 | 高知工科大学長 |
| 監 事 | 平山けい | 阿南工業高等専門学校長 |
| 企画・実施統括者 | 中井俊樹 | 愛媛大学教育・学生支援機構 教授 |

SPODの将来構想について(案)

今年度のSPODネットワークコア運営協議会FD専門部会、SD専門部会において、SPODの今後の取組内容について検討した。その検討結果を基に、令和3年12月3日および令和4年1月24日にコア運営協議会の場で意見交換を行い、以下のとおり、令和4年度～令和9年度までのSPOD将来構想案を作成した。

SPODの将来構想案

全体方針

1. FD・SDの地域ネットワークのリーダーとしてのプレゼンスを維持する
 - ・プログラムの見直し及び新規開発に取り組むことで、FD・SDを一層発展させる
 - ・活動の内容と成果を広く発信していく
2. SPODフォーラムを国内最高のFD・SDの機会にする
 - ・優れたFD・SDプログラムをフォーラムで提供する
 - ・ポスターセッションによって発信や交流の場を提供する
3. 対面研修では対面の特徴を活かした学習や交流の機会を提供する
 - ・対面ならではの参加型の学習を取り入れる
 - ・参加者間のネットワークづくりを促進する
4. 希望する時間と場所で学習できるオンデマンド研修の機会を増加する
 - ・ニーズに合ったオンデマンドの教材を開発し提供する
 - ・オンデマンドの教材を活用してハイブリッド型の研修を増加する
5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する
 - ・会議等の遠隔開催、書面開催を積極的に行う
 - ・刊行物は書類を減らし、ウェブサイトなどの情報提供を充実させる
 - ・事業予算の柔軟な運用などによって安定的な財政基盤を維持する

FDの方針

1. SPOD-FDマップ作成
 - ・SPODにおけるFDプログラム（講師派遣プログラムを含む）のFDマップを作成し、プログラムの共有化、共同開発に活用する
 - ・期間途中で更新することで、プログラムの整理や新規開発の指針として活用する
2. オンラインによるFDプログラムの共同開発
 - ・大学を超えた新たな取組として、SPODコア校のFD担当者が共同でオンラインによるFDプログラムを開発、実施し、SPOD加盟校に提供する

3. 大学院生を対象としたプレFD開発
 - ・大学院設置基準の改正に伴う取組として、共同でプログラムを開発し、共有する
 - ・大学院生のニーズを把握し、プログラム開発に活かす
4. 分野別FDプログラム開発・FD担当者養成
 - ・加盟校の文脈や専門分野に即した具体的で実効的なプログラムとするため、SPOD加盟校における分野別FDプログラムをコア校以外の加盟校の担当者も含めて共同で開発する
 - ・学部や小規模大学においてFDを推進する担当者の育成、支援を行う
5. TA・SAを活用した教育の質向上
 - ・TA・SAを適切に活用し、授業の可能性を広げ、学生の学習効果を高めるためのFDプログラム開発及びTA・SAの育成を行う

SDの方針

1. オンラインによるSDプログラムの共同開発
 - ・オンデマンド動画コンテンツを開発する
 - ・既存のSDプログラムの一部または全部のオンライン化を検討および導入する
2. SDプログラムの体系再構築
 - ・SPOD加盟校のニーズ調査に基づく新規プログラムを開発する
 - ・既存のSDプログラムの内容の点検・評価および再構築を行う
3. SDプログラム修了者のフォローアップ体制の充実
 - ・次世代リーダー養成ゼミナール修了生やSPOD-SDC取得者への研修や勉強会を実施する
4. 加盟校間のSDコミュニティ構築
 - ・日常的な意見交換、定期的な勉強会（経営学や心理学など業務に活用可能な知識習得）の場を構築する
5. SDの内製化の推進と支援
 - ・研修設計と評価に関するSDを充実させる
 - ・SDの年間計画に関するコンサルティングを実施する